

「鶴町小学校 学校安心ルール」

<基本的な考え方>

- 学校安心ルールは、あらかじめルールを明示することにより、子どもたちがしてはいけないことを自覚したうえで、自らを律することができるよう促すことを目的として作成したものです。
- 子どもたちには日頃より、基本的な約束に示されたことがらを心がけること伝え、ひとりひとりがルールを守ることの大切さや相手のことを考えることができる、「より良い社会（学校）」をめざしています。
- 第1～3段階の基本となるものは、『体罰・暴力行為を許さない開かれた学校づくりのために』の「児童生徒の問題行動への対応に関する指針」によるものです。

対応段階	学習の時に	他の子に対して	先生に対して	その他のルールとして	学校等が行うことができる対応の例
基本的な約束ごと		・嘘をつかない	・ルールを守る	・人に親切にする	・勉強する
第1段階	・授業時間におくれる	・からかう、ひやかす ・無視する ・物をかってに使う ・物をかくす	・指導を素直に聞かない ・指導を無視する ・からかう、ひやかす	・学校の物を大切にしない ・自分の机等に落書きする ・学校の物をかってに使う	・その場で注意 ・場合によっては家庭連絡 ・個別指導 ・自己を振り返る（反省）活動
第2段階	・授業のじゃまをする ・授業に関係のない話をする ・授業をさぼり校内でたむろする	・仲間はずれにする ・悪口、かげ口を言う ・こわがるようなことをしたり言ったりする	・指導に対して反抗する ・挑発的な態度をとる ・バカにしたようなことを言う	・学校の物をこわす ・夜中に出歩き徘徊する ・カードやゲーム等で賭けごとをする	・その場で注意 ・家庭連絡 ・複数の教職員による個別指導 ・自己を振り返る（反省）活動
第3段階	・授業中、故意に妨害をする ・テストのじゃまやカンニングを繰り返す ・学校をさぼり校外に出る	・いやがることを無理やりさせる ・暴力をふるう（プロレス技をかけるなども） ・物を故意にこわしたり、すてたりする	・指導に対して激しく反抗する ・こわがるようなことをしたり言ったりする ・押す、突き飛ばす、ぶつかるときの暴力をふるう	万引き・飲酒・喫煙など法律に違反するようなこと	・家庭に連絡し保護者と連携する ・保護者と連携を取りながら一定期間別室において個別指導 ・関係諸機関（警察、こども相談センター、生活指導サポートセンター）と連携し、学校内で指導する
	第3段階よりも重いと思われる事象や違法行為（窃盗や傷害、恐喝行為など）については、学校は教育委員会事務局の担当指導主事と連携し、対応について協議する。				

<留意点>

※ この「鶴町小学校 学校安心ルール」の内容は、教育振興基本計画に示している学校の安心・安全のためのスタンダードモデルをもとに作成しています。各小中学校では、スタンダードモデルをもとに学校の実情に応じた学校安心ルールを作成し運用することができます。

※ 「学校等が行うことができる対応」については、あくまでも例示であり、学校は児童生徒ひとりひとりの状況等も十分にふまえ、対応について判断します。